全国大会を終えて～

全国大会の実行委員として札幌ポプラ会から、古屋会長と共に、協力させていただきました。

この大会を終えて、反省点は（自分自身の）多々あるのですが、微力でしたが実行委員として参加させていただいたことは、貴重な経験となりました。

北海道自閉症協会の役員の皆さまも私も、日々の生活の中で、家族の生活の中で、地域・ご近所の生活の中で、様々な出来事や想いのなか、それぞれ同じ自閉症のある子どもを育てている親であります。子どもの特性や個性は違えども、今回の全国大会を北海道で実施する事への目的は、口には出さなくても、皆同じ方向を向き進んでいけたと感じています。また、道内の各分会の皆さまとも、地域は違いますが、同じ北海道の会員として、同じ時間を共有し、2 日間にわたり協力し、なし終えたことは、これからの北海道自閉症協会全体の大きな財産になったのではないかと思っています。また、様々な機関の、様々な立場の方との協力や連携、ネットワーク（つながり）の重要性を学び、切に感じた期間でした。

（斉藤圭美）

（展示ホールに掲載したポスター）